

野外体験保育 普及促進マスター養成講座



座学講座プログラム



5月から8月に実施する座学講師&講座内容を
紹介！！

第一回 「子ども」と「あそび」と「自然」と「文化」 ～楽しい、面白いから始まる活動～

日時：5月16日（木）10：00～15：00

場所：津市（予定）

講師 浦中 こういち 氏

自然を通した活動や普段のあそびなどは、子どもも大人も楽しい、面白いことから始まります。その中で気づいたり、発見したり、考えたりと多くのことを学んでいきます。そんな楽しい、おもしろいから始まる大切なことを一緒に考えてみましょう。

また、造形ワークショップを通して表現の面白さ、言葉の楽しさを感じてみましょう。

<講師プロフィール>

元保育士。保育士時代自然の多い環境でこどもたちと毎日あそび過ごす。

その中で自然を通して子どもたちと共に活動し学ぶ大切さを知る。

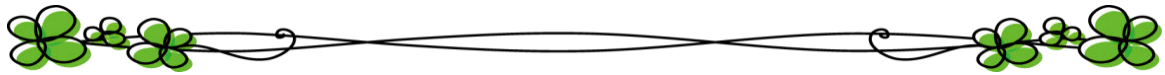
保育士を退職後、2014年絵本作家デビューをする。

保育の経験を活かしその後も活動をする。

現在は、絵本作家、あそび作家、高田短期大学非常勤講師、わくわくワークショップ代表、team ウラナカ代表、笑顔をつなぐチャリティープロジェクト代表。

この春よりニュース情報番組「M i eライブ」のサブキャスターも！

保育の勉強会、ワークショップ、保育士アドバイザー等も行い、子どもに関わる全ての人が楽しく学べる場を作る。



第二回 乳幼児期における自然体験の意義と効果

日時：6月9日（日）13：00～16：00

場所：津市

講師 馬場 耕一郎 氏

受講生の主体性を高め、保育所保育指針から自然環境を通じた保育のあり方や方法について学びます。

<講師プロフィール>

平成8年 聖和大学（現・関西学院大学）大学院教育学研究科幼児教育学専攻
修士課程 卒業

平成17年 社会福祉法人友愛福祉会 おおわだ保育園 園長就任

平成19年 社会福祉法人友愛福祉会 おおわだ保育園 理事長就任

平成25年 厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課 保育指導専門官 就任

平成29年 厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課 保育指導専門官 退官

関西学院聖和短期大学准教授就任

社会福祉法人友愛福祉会 おおわだ保育園 理事長就任

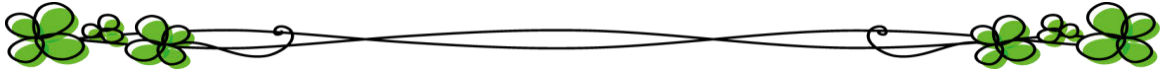
厚生労働省子ども家庭局保育課保育専門調査官 就任

平成31年 関西学院聖和短期大学 退官

※馬場耕一郎氏は、平成30年4月に施行された保育所保育指針に携わられ、全国各地の保育所等で保育指針の解説をされています。

話がわかりやすく、講義の時間があっという間に過ぎる！楽しい！という

定評あり！



第三回『子どもの発達と森・自然の意義』

～子どもの発達において、より良い森や自然の姿とは～

日時：8月1日（木）10：00～16：00

場所：津市

講師 近藤 直樹 氏

人の成長発達には、「発達の順序性」という道筋があります。

その「発達の道筋」に環境が大きな影響を与え、その中でも“自然”はとても大きな存在です。

水、土、太陽のもとで、素足で水にふれる、砂遊び、泥んこ遊びをすることから始まり、さらには四季折々の自然の中で感覚と全身を使って毎日イキイキと遊びきること、子供の成長する力のはのびやかに力を発揮していきます。

子供たちの成長において、自然は、人の野性的・本能的な側面に訴えかけ、自発的な意欲や興味関心を引き出したり、心で感じる感性を育てたり、自然は存在全てを受け入れてくれることから、自己肯定感が育つなど、子どもに与える影響は計り知れないものがあるのです。

皆さんで「人が成長する根幹の力」を学びながら、子供たちの発達にとってより良い森とは、自然とは何かを、一緒に考えていきましょう。

<講師プロフィール>

社会福祉法人 いなべ福祉会 いなべひまわり保育園 副園長

くわなひまわり保育園 副園長

高校教員の時代に厳しい生徒指導に当たりながら、「教育とは？」と深く再考し、人の成長に最も重要な要は、0～3歳の子どもの時期や家庭の在り方にあると確信し、2008年にいなべひまわり保育園 園長に就任し、同園を開園。2018年には桑名にもくわなひまわり保育園を小規模保育園園長として開園した。

現在は副園長としていなべ・くわな両園の保育の指導にあたる。

乳児からの正しい発達をおさえた保育を行うこと、子どもの心に寄り添うこと、自然の中で子どもが育つこと、これらを大切に、日々の保育実践を行っている。